

2024年11月5日 全国市町村長サミット2024 in 千葉

全国で2番目に小さいまち奈良県三宅町  
自分らしくハッピーにスマートタウン

三宅町 町長 森田 浩司





全国で2番目に小さいまち

# 奈良県磯城郡三宅町

人口 **6435** 人 (令和6年9月1日時点)

面積 **4.06** km<sup>2</sup> (奈良県で1番,全国で2番目)

世帯数 **3058** 戸

東京から約3.5時間  
大阪、京都から約1時間



野球グローブ



お米



金ゴマ

## Vision

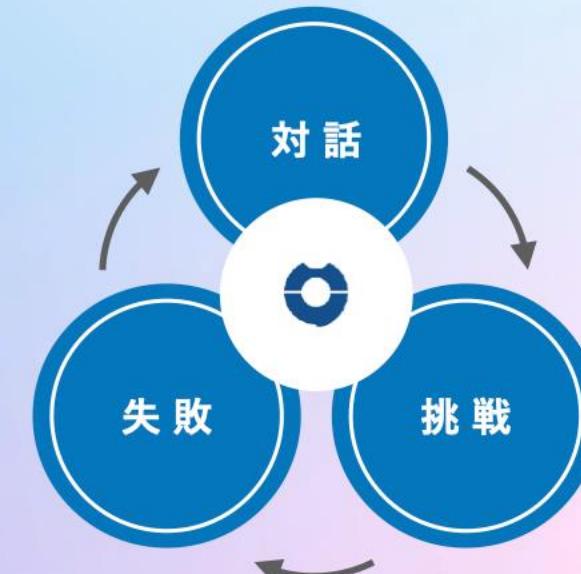
自分らしくハッピーにスマールタウン

## Mission

まちの夢の伴走者/共創者として、共に成長を続ける

## Value

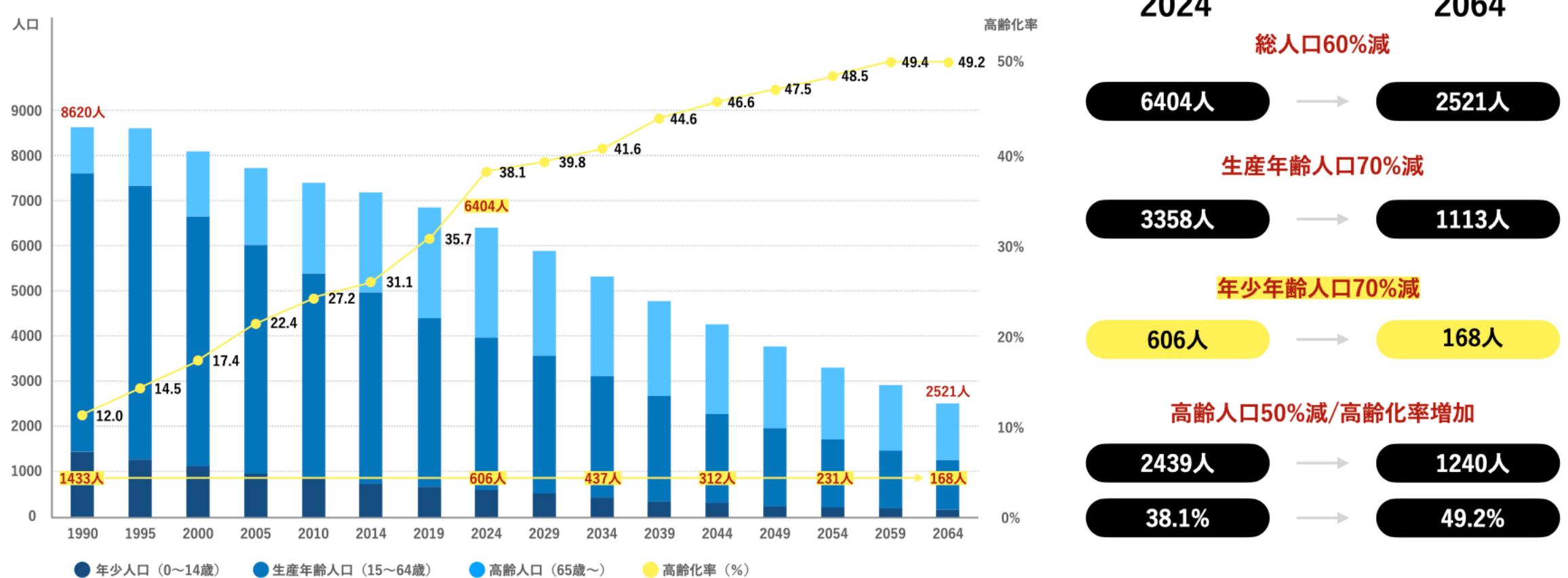
対話・挑戦・失敗





## 縮小する三宅町の将来人口

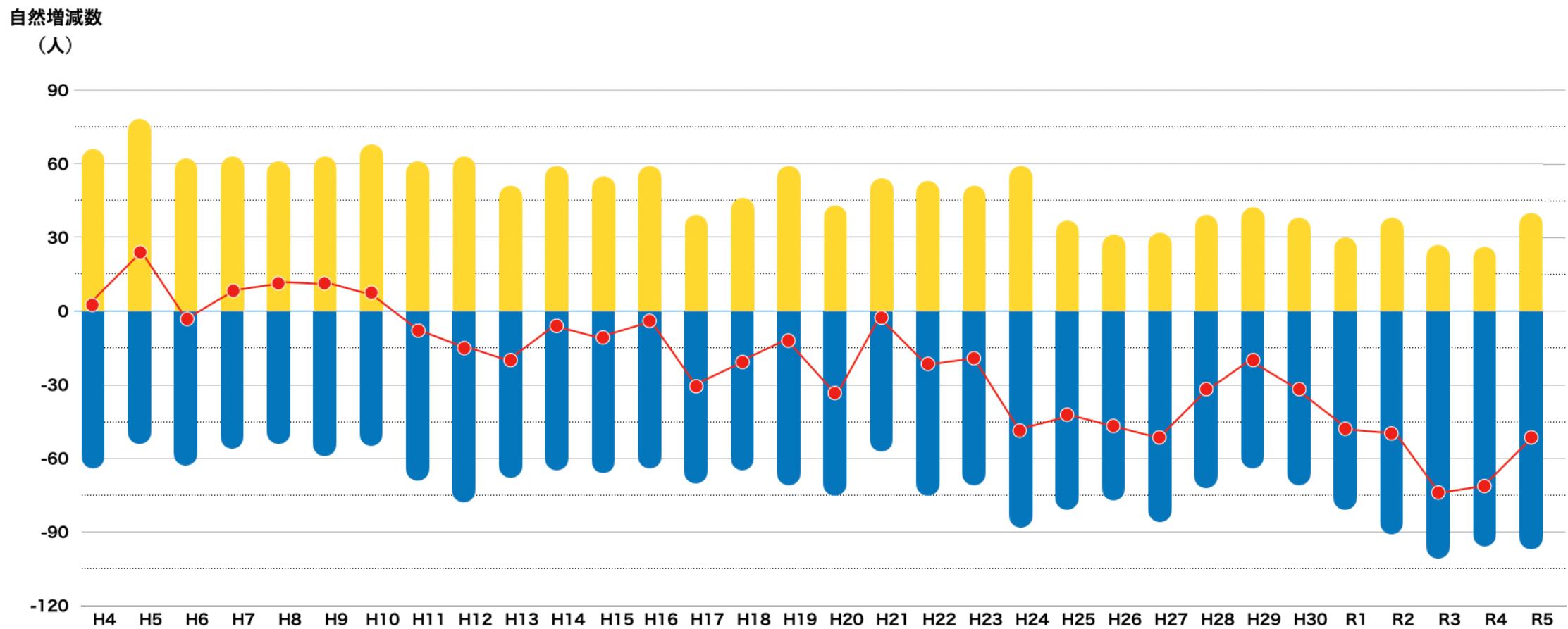
例外なく三宅町でも少子高齢化・人口減少は加速。  
全国値よりも急激な人口減少が生じ、2人に1人が高齢者に。





## 三宅町の自然増減

平成4年からの32年間で自然増減により634人が減少。

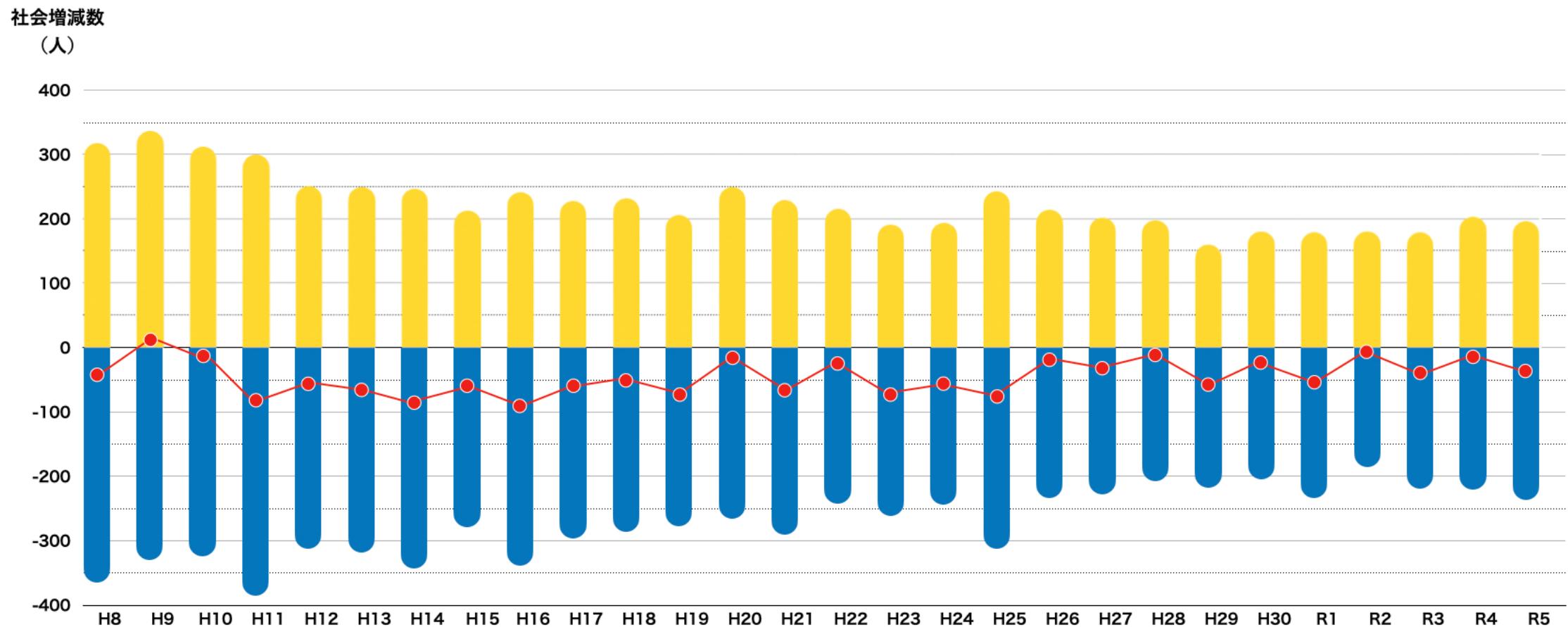




## 三宅町の社会増減

平成8年からの28年間で社会増減により1314人が減少。

期間中の増減数について大幅な変化はない。





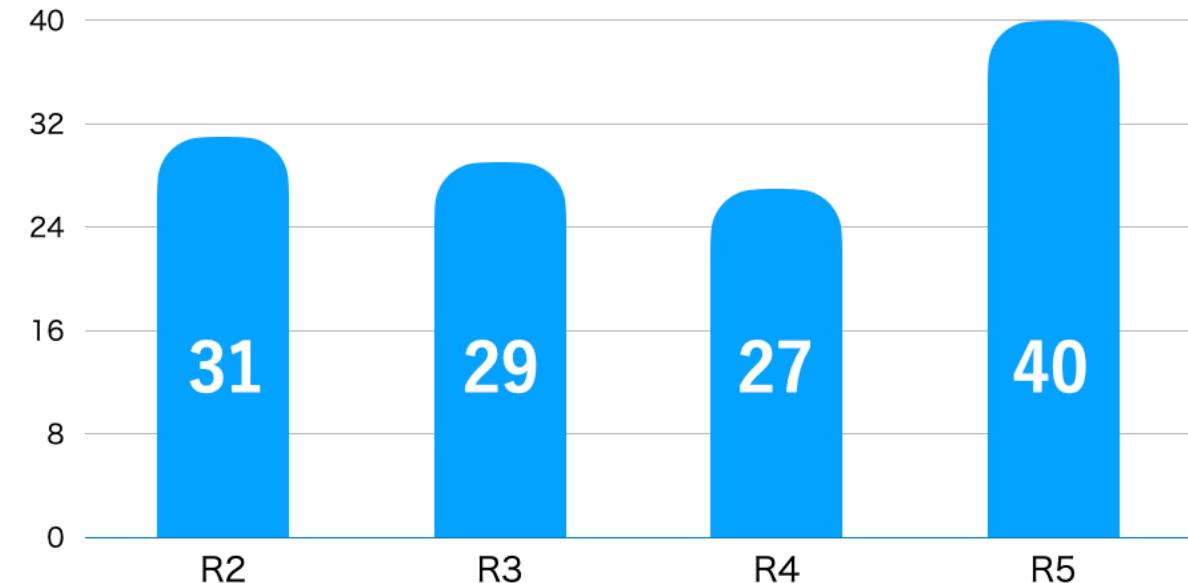
## 三宅町の出生率

令和5年の合計特殊出生率（全国平均は1.2）

1.43

※三宅町独自で算出

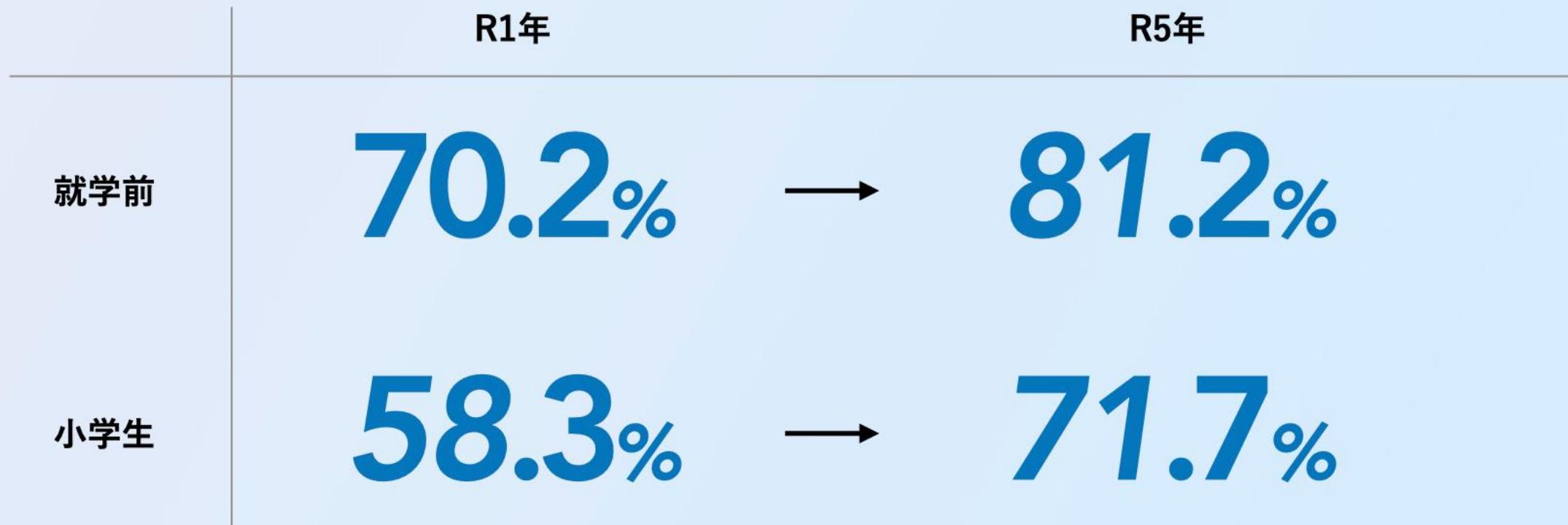
## 三宅町の出生数推移





## 子育てのしやすさに対する意識調査

三宅町での子育てについて、「子育てしやすい」と回答した人の割合



三宅町子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書（三宅町健康子ども局）より



## 三宅町で暮らす当事者の声



30代ママ・お子さん2人

## 子育てを頼れる 近所関係がある

義実家が近くにあったり、近隣の人気が見守ってくれているため、周囲に子育てを頼みやすい環境にある。

MiiMoや子育て支援センターなど、ママ同士が繋がれる場所も多く、地域交流がしやすい環境が整っている！



30代ママ・お子さん2人

## 親同士の距離感が近い

三宅町出身のママが多く、親同士が同窓会のような感覚。海外からUターンしてきたが、小さな町なので親同士や役場との距離感も近く、踏み込んだ話がしやすい！

友達家族で一緒に幼・少・中を育てていけるのは魅力的。



30代パパ・お子さん2人

## 近隣のまちより 子育てコストが低い

生活に必要な物は近隣で購入できるので不便はない。

仕事の関係で三宅町に越してきたが、保育料の安さや行政の支援サービスが手厚くてとても暮らしやすい。

地域全体がのどかなので、手を離して遊ばせても危険がなくて安心！



### 三宅町の少子化対策に対する考え方

「子育て支援」という言葉にとらわれない、住民の暮らしやすさの探究。

**小ささを活かした、きめ細やかな寄り添い型支援**



Small is 近さ.

### 行政と住民との密接な距離感

- ・住民さんの顔と名前が一致する地域と近い職員さんが沢山！
- ・対話の文化を大切に、地域、職場でのコミュニケーションが活発
- ・立場を超えて町について語り合える交流の場がある！



# Small is **きめ細やかさ**.

まちの声にスピーディーに応答

- ・まず「やってみる」の精神で、まちの課題に素早く対応
- ・暮らしやすさ,育てやすさの底を上げる経済的支援
- ・民間企業と連携し、出産,保育の困りごとや悩みを解消！

すこやかな子育てを応援する保育料  
(1子目への所得制限撤廃、2子目からの保育料無償化)



おむつ定額サービス「手ぶら登園」



夜間休日のオンライン診療



産婦人科・小児科のオンライン相談

大切なのは、三宅らしい「豊かな暮らし」を探究し続けること。  
誰もが自分らしく、産み、育て、暮らせるまちを目指して。

右肩上がりの時代は終わった。

これからの中核自治体に求められるのは、個性を活かした適切な規模のまちづくり。

日本で2番目に小さいまちだからこそ実現できるまちづくりが、きっとある。

より良い人間関係をつくる。より良い居場所をつくる。より良い暮らしをつくる。

「少子化対策」という言葉に踊らされるのではなく、誰もが自分らしく幸せな暮らしを送れるまちづくりを探究し続けていく。その先に、三宅町の未来があると信じている。

〈小ささ〉は可能性だ。

**Small is [ ] .**

